

5月19日の豊後水道の地震について

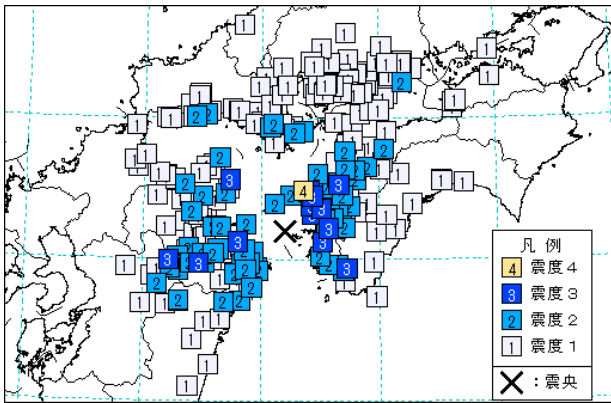


図1 観測点震度分布図(×は震央)

19日06時56分、豊後水道の地震(深さ46km、M4.5)により、愛媛県伊方町で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3~1を観測しました(図1)。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました(図3)。この地震の発生後、21日24時までには震源付近で震度1を観測する地震は発生していません。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近(図3の領域b内)では、M4.0以上の地震がしばしば発生しています(図4)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(図5の領域c内)では、M6.0程度の地震も時々発生しています。このうち、1968年8月6日にはM6.6の地震が発生し、負傷者22人、家屋破損8棟などの被害のほか、宇和島では重油タンクのパイプが折損し、重油170klが海上に流出しました(被害は「日本被害地震総覧」による)。

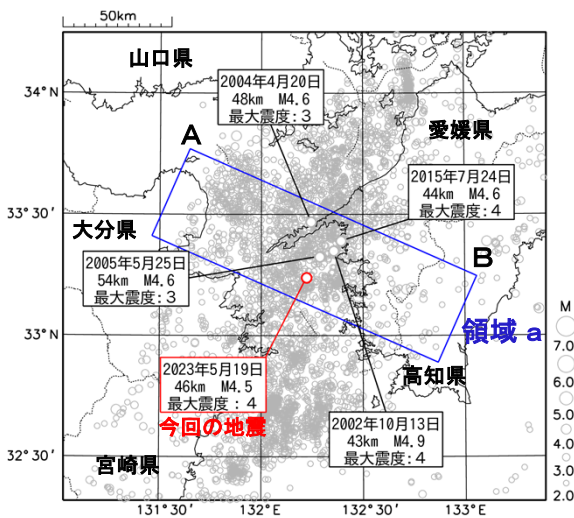


図2 震央分布図
(1997年10月1日~2023年5月21日、深さ30~100km、M≥2.0、2023年5月19日以降の地震を赤く表示)

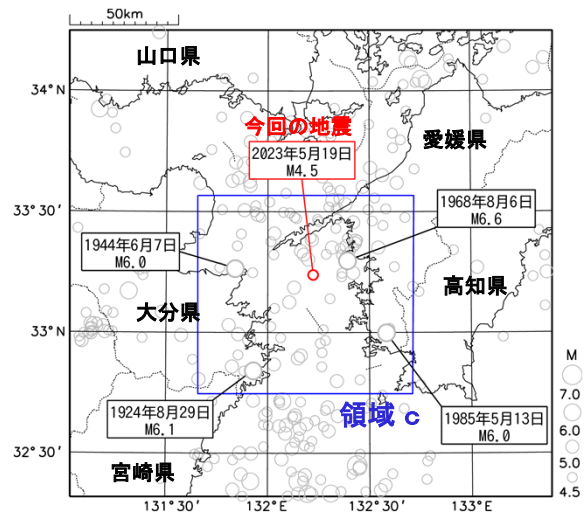


図5 震央分布図
(1919年1月1日~2023年5月21日、深さ0~100km、M≥4.5、2023年5月19日以降の地震を赤く表示)

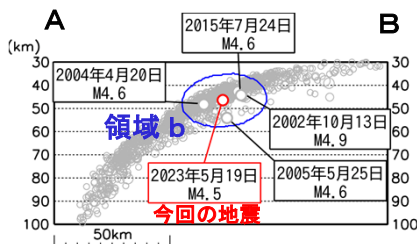


図3 図2の領域a内のA-B断面図

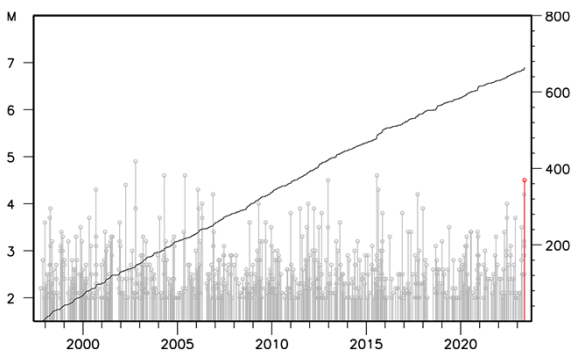


図4 図3の領域b内の規模別地震活動経過図及び回数積算図

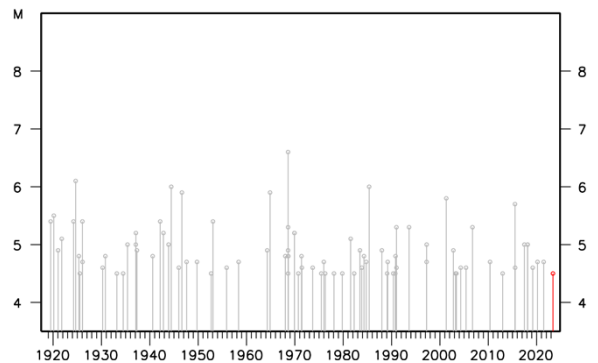


図6 図5の領域c内の規模別地震活動経過図